

平成25年度県内生協視察学習会

平成24年に法人化50周年を迎えられた名古屋工業大学生協を見学学習しました。

- 日時 平成25年8月27日(火) 午前10時30分から午後2時45分まで
- 場所 名古屋市昭和区御器所町

参加者 33名(14生協28名、行政1名、事務局4名)

一宮2名、あいち1名、トヨタ3名、かりや愛知中央5名、トヨタ車体2名、オークマ1名、こじま2名、南医療1名、愛知県職員2名、愛知県警察職員5名、名古屋大学消費1名、住友ゴム工業名古屋1名、大学生協事業連合1名、東海コープ事業連合1名、



名古屋工業大学生協について

組合員数 6,021名
(平成25年2月末現在)
学生数 5,054名
(一部、二部、大学院)
事業規模 11億5千万円



稲吉専務理事「学習会の案内とグループ別け」

構内施設案内の学生委員12名の紹介





CamPla店
名工大の講義に必要な文具や教科書・参考書は全て揃っています。



弁当も販売



名工大 オリジナルグッズ



焼き立てパンを販売



**大学会館内コンビニタイプの店「すみっこ」
季節の演出もされています。**





TFT(Table for two)
 売上の一部が発展途上国の子供たちの食事のために寄付される活動。
 2012年11月からスタート。



目の前で焼いてくれました。



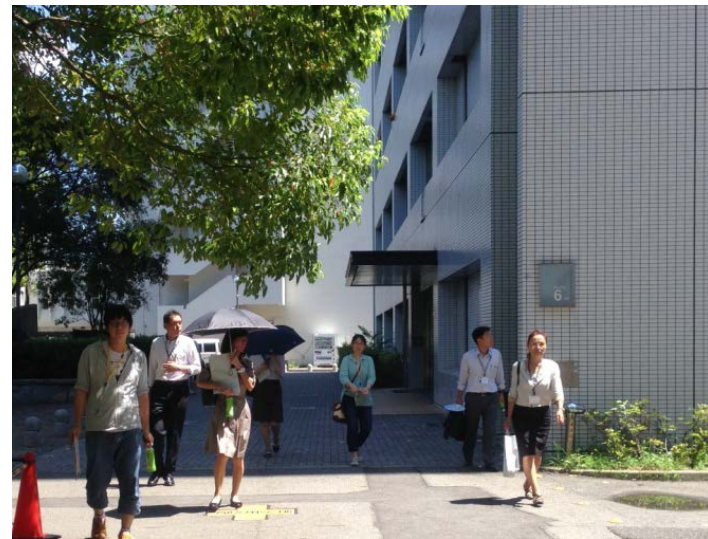
8月26日～30日の限定メニュー
 サーロインステーキ 630円
 ご飯80円と合わせて710円です！



朝昼夜と3食営業している大学会館2階の「カフェテリア」自分で好きなおかずを組み合わせで食べられます。



大学会館
 1階大食堂、1階すみっこ
 2階カフェテリア、2階ブルーメ、
 2階CamPla店、



NI Techマート
 1階はじっこ、コンビニATM。
 2階ラウンジカフェ、パスタやカレー
 うどんなどメニューがあります。



今は車の必要はないが、免許はとりあえず取得しようという学生さんが多い。

講演 「名古屋工業大学生協法人化50周年を迎えて」 大学の変化と生協、学生の変化と生協



大学の現在

- ・国立大学から独立した運営へ(平成16年～)
各大学が社会評価確立へ努力
構成員(学生、教職員)が共に大学を活性化
- ・大学生協と大学との関係の変化
暗黙の協調関係から業務委託への移行
生協の大学への貢献提案と大学からの評価
一般業者との競争?の時代へ

水野直樹理事長

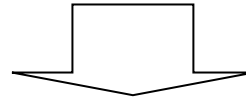
- ・大学評価の時代へ(平成19年～)
大学ランキング、大学の社会的役割分担
学生の大学選択基準の変化(私学では食堂がアピールポイント)
- ・運営交付金の年平均1%の削減(平成16年～)
- ・生協の位置づけの大学へ再認識と共生へ
生協との新たな協調関係で学生の福利厚生充実へ

学生の変化と生協



稲吉顕吾専務理事

- ・生活費は約3万円減。
- ・本を読まない、教科書も買わない大学生。
- ・勉強と将来の不安、心配事が増え余裕がない。



- ・大学生の食と学びを支える生協店舗・食堂事業
食事サポートサービス＝朝食の提供(300円)
- ・先輩から後輩へ学びを伝える
勉強に必要な文具を生協店舗に揃える。
- ・英語力・キャリア形成
大学生協が学生に果たす役割、大学への貢献

学生委員会活動

大学オープンキャンパスでの活躍

大いに学ぶ。学び合う仲間づくり。新入生を迎える活動。